



MANOTSURU  
born from Sado, Niigata

真野鶴

～幸せを醸す酒造り～

佐渡・学校蔵プロジェクトの取り組み



佐渡の地酒「真野鶴」  
五代目蔵元・尾畑留美子



- 「真野鶴」五代目  
尾畑酒造(株)尾畑留美子  
慶応大学法学部卒業  
映画会社宣伝プロデューサーを  
経て、蔵に戻る。
- 日本酒造組合中央会  
    需要開発委員
  - 農水省食糧部会委員
  - きき酒マイスター
  - すしアドバイザー
  - 初級BBQインストラクター  
    他



# 自己紹介

MANOTSURU  
born from Sado, Niigata

真野鶴



1892年創業  
「真野鶴」を醸す



## 佐渡ってどんな島？

新潟県佐渡市

周囲：262.7 km

面積：東京23区の約1.5倍

最高標高：1,172m

人口：約59,376人 (平成25年10月1日時点)



○過疎化や高齢化が進行

【人口】 平成16年 平成25年  
国勢調査（推計） 68,999人 ⇒ 59,376人  
（毎年1,000人程度減少している）

【高齢化率】 平成16年 平成23年  
佐渡市 34.4% ⇒ 36.9%  
（全国）（19.5%） ⇒ （23.3%）

【出生数】 404人 ⇒ 398人

【死亡者数】 1062人 ⇒ 1,100人

【合計特殊出生率】 ★

佐渡市 1.54% ⇒ 1.82%  
（全国）（1.29%） ⇒ （1.39%）

【市内総生産】 2,239億円 ⇒ 1,913億円



○過疎化や高齢化が進行

【人口】	平成16年	平成25年
国勢調査 (推定)	68,909人	⇒ 59,376人
(毎年1,000人減少)		

【高齢化率】	平成23年
佐渡市	26.9%
(全国)	22%

【出生率】	1.5%
(全国)	1.0%
【合計】	100人

【合計】	1.5%	⇒	1.82%
佐渡市			
(全国)	(1.29%)	⇒	(1.39%)

【市内総生産】	2,239億円	⇒	1,913億円
---------	---------	---	---------

課題先進地



その一方、佐渡には多くの宝が！

《歴史》



《文化》



《自然》



《朱鷺》





## 佐渡の自然・文化が注目されている！

- 世界農業遺産（GIAHS）認定（H23年6月）
- 日本ジオパーク認定（H25年9月）
- 世界ジオパーク登録（H28年目標）
- 世界文化遺産登録（H29年目標）



## 島の優位性

その価値をさらに高める







## そもそも酒造りは地域創り



酒米の田んぼ（株）佐渡相田ライスファームにて

美しい地域の環境が日本酒を育む



MANOTSURU  
born from Sado, Niigata

真野鶴

日本酒の需要振興がもたらすもの。





MANOTSURU  
born from Sado, Niigata

真野鶴

2014年5月スタート

# 学校蔵 プロジェクト

真野湾を一望する丘の上



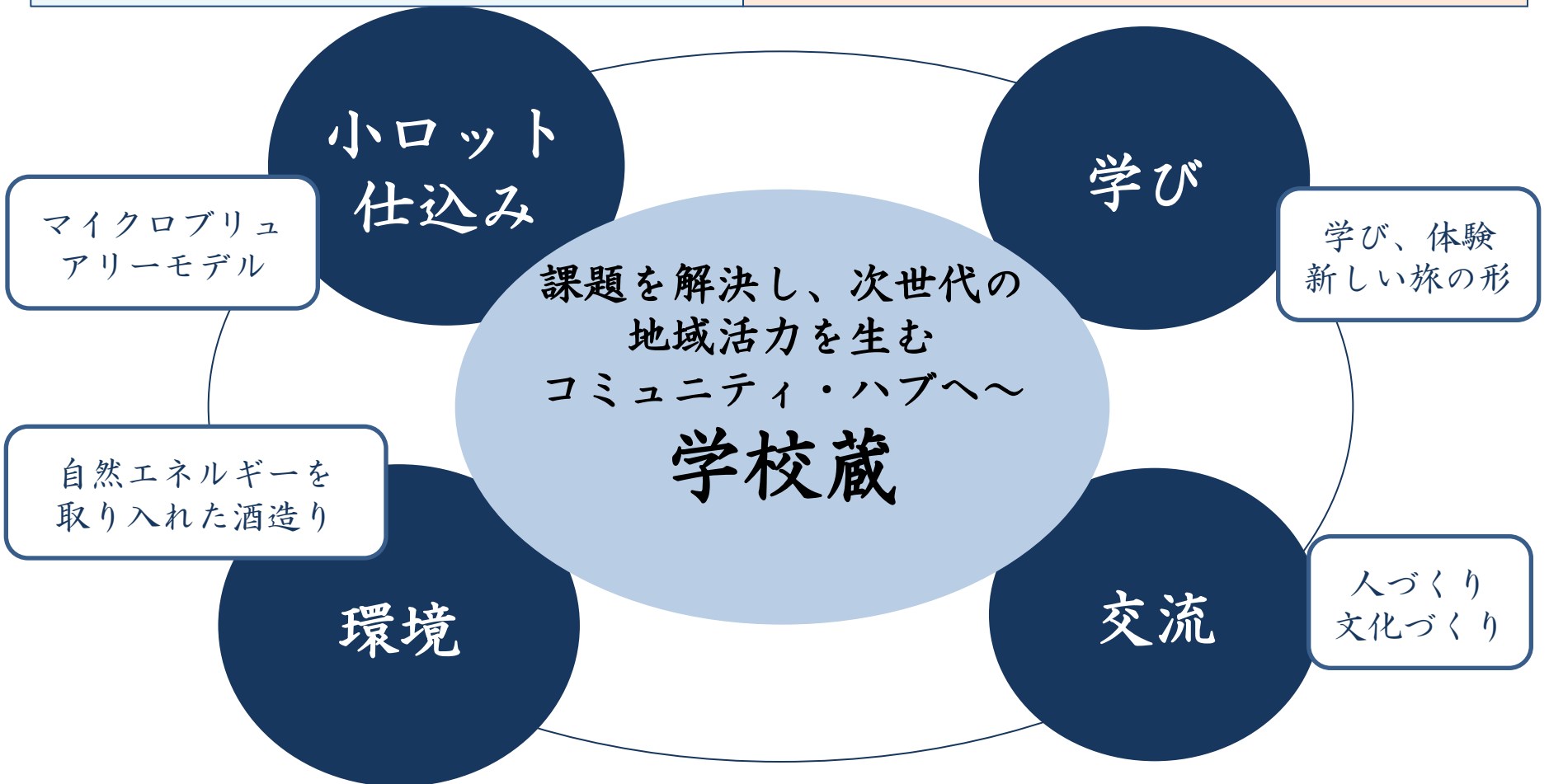
日本で一番夕日がきれいな小学校



# 学校蔵プロジェクト

●日本酒業界の現状と課題  
国内消費の長引く低迷。  
酒蔵の減少。

●佐渡の地域の現状と課題  
地域産業の疲弊、後継者不足  
観光客の減少 ・ 廃校の増加





“酒造り”の場として





【酒造】小ロットの製造&出荷に対応した小仕込み四季醸造蔵の新設

## 小仕込み

- 佐渡の素材で酒造り
- 小ロット高付加価値商品の製造が行える。
- 体験参加型のものづくりに対応出来る。



+

## 四季醸造

- 四季を通じて特殊商品の製造&出荷に対応でき、同時に短納期化が可能になるため収益性が向上する。



佐渡産にこだわったマイクロブリュアリー



## “学び”の場として





【学び】 酒造りを一週間以上の期間で本格的に学んでもらう場を提供

## 日本人の体験

●主に酒の販売に携わる飲食や流通関係者を対象とし、広く市場に國酒の啓蒙や日本酒のファン作りを広げる。



+

## 外国人の体験

●海外バイヤーに正しい知識を伝え、販売に活かしてもらう。酒が語る生産地の地域性や魅力を伝えてもらう。



学びと体験で地域を理解





## “交流”の場として





## 【交流】 学校蔵の来校者が長期滞在⇒新たな可能性

### 廃校の利活用

- 地域コミュニティの中心であった廃校を、酒造りが学べる酒蔵として再生。新しい「ものづくり」をスタート。



+

### 体験＋セミナー＋滞在

- 体験カリキュラムやテーマ性のあるセミナーを通して、地域との交流を促す、酒蔵ツアーリズムや佐渡の人材育成、新しい文化発信に貢献。



交流から人材づくり、文化づくり。



## 佐渡の“環境”を活かす場として



Copyright © 2000 Chao Hirotsuki All Rights Reserved.





佐渡の“環境”を活かす場として



環境を  
見える化



## 【環境】 持続可能な循環型エネルギーシステム

### 朱鷺&環境の島

●朱鷺の住む環境を守るため、環境に優しい農法で育てられる優良米で商品作り。

+

### 世界農業遺産

●日本で最初に世界農業遺産に指定された佐渡。自然、文化、歴史的に日本の縮図とも言える佐渡の良さをPR。

太陽光パネルの導入  
(2014年12月～)  
ソーラーフロンティア製CIS  
薄膜太陽電池



環境を“見える化”に向けて。



さらに目指すのは・・・

## オール佐渡産のエネルギー



佐渡の間伐材を活かした  
エネルギー導入

地域産品を活かした  
ものづくり  
(酒と地元果実など)



地域でまわる  
資産とエネルギー





「なんでもある都会」でも「どこにでもある田舎」でもない  
「ここにしかない場所」造りの共創



課題先進地域「佐渡」から地域の未来を創る  
日本各地で応用可能な先行事例の創造





地域の未来、日本の未来、  
幸せを醸す酒造りを目指して



校訓は  
幸醸心